

日本大学進学セミナー「学部を知ろう」講座一覧 ①11:30~12:00 ②12:20~12:50

日時	学部	タイトル	内容	講師	講師PR
8月23日	法学部	意外と知らない法律専門職の世界	裁判官や検察官、弁護士に対するイメージはどんなものですか？今回はこれら法曹三者を中心に、裁判所や検察庁の事務官、弁護士事務所職員、さらには企業の法務部員などの実際の仕事内容についてお話しします。法学部での学びが、いかに実践的で専門的なものかを知ることができるはずです。	法学部法律学科 野中貴弘先生	私の専門は法律学です。「民法」という法分野の研究・教育をしているほか、2013年から昨年2024年まで弁護士登録をし、弁護士として実際の事件にも関わってきました。法律に興味がある方は是非ご参加ください。 講演の最後には、皆さんからの質問に率直にお答えする時間を作ります。気軽に質問できる空気になりますので、どうぞよろしくをお願いします。
	危機管理学部	危機管理学部で学ぶ知識と社会の接点—テロリズム研究の視点から	危機管理学部でテロリズムやその対策について学ぶことは、社会における重大なリスクの一つを理解し、対応の基本的な型を知識として身につけることでもありません。本セミナーでは「テロリズム論」を例に、危機管理学部での学びが治安を守る警察官や海外での業務にも携わる自衛官や企業の社員に限らず、多様なリスクへの対応を迫られる自治体職員やメディアなどの仕事にも関係することを話します。	危機管理学部危機管理学科 佐々木葉月先生	私の専門分野は国際政治学です。中でも、国家から民間の主体まで含めたテロ対策や協力体制について研究しています。危機管理学部では、テロリズム論という科目を担当しています。テロリズム研究は欧米諸国では盛んですが、日本では珍しく、大学で独立した科目として学べる学部はほとんどありません。社会を意図的に揺さぶる暴力行為に対し、研究の世界で蓄積されてきた知の処方箋を提供する仕事だと考えています。
	松戸歯学部	「歯医者さん界限」	歯医者さんが多すぎるとい話を聞きますか？本当にそうなのでしょうか？わかりやすくデータを見ながらお話しします。 また、歯医者さんはどんな仕事をしているのかもご紹介いたします。	松戸歯学部学部長 福本雅彦先生	私の専門は「歯科」です。歯医者さんに対するイメージはどんなものでしょうか？今日は皆さんが思っている歯医者さんのイメージとは違う「意外と知らない最近の歯医者さん」のお話をしたいと思います。
	生物資源科学部	映画から飛び出した研究者	「野生動物の感染症」と聞くと、多くの人は「動物だけにうつる病気」を思い浮かべるかもしれませんが、でも実は、感染症の7割以上が、動物からヒトにうつることがある病気（ヒトと動物の両方に感染する病気）です。さらに、こうした感染症は、野生動物とヒトとの関係や、自然環境のバランスがくずれると、広がりやすくなる場合があります。このような調査って誰が行うのでしょうか？今日はその中で、特に薬が効かなくなる「薬剤耐性菌」の研究について講演します。	生物資源科学部環境学科 炭山大輔先生	わたしの専門は【保全医科学】という新しい分野です。具体的には、野生動物の感染症（細菌感染や寄生虫）や遺伝について研究しています。野生動物の病気の研究者になりたい方はぜひご参加ください。
8月24日	危機管理学部	危機管理学部から国家公務員へ—出入国管理の仕事を中心に—	そもそも危機管理学部って何を学ぶところなの？と聞いていらっしゃる方も多いと思います。本セミナーでは、危機管理学部でのカリキュラムについて紹介するとともに、その学びの先にある職業として国家公務員に注目します。特に、国際的な視点から危機管理学部での学びを活かせる専門職として、来日する外国人旅行者数が激増する現在、日本の玄関口を守る重要な任務を担う「出入国在留管理庁」の仕事に焦点を当てたいと思います。	危機管理学部危機管理学科 安藤貴世先生	私の専門分野は国際法学です。危機管理学部では、国際法、国際人権・人道法、平和構築論といった科目を担当しています。国際法は主に「国」と「国」との間のルールですが、たとえば人権の国際的保障や戦争犯罪の処罰など、「個人」が国際法においてどのように扱われるかについて研究をしています。実務経験として、外務省に任期付き職員として勤務したほか、現在は出入国在留管理庁の難民審査参与員を務めています。
	理工学部	100年では全然古くない！ とっても古い英国交通インフラの魅力	今日は、100年以上も使い続けられている英国にある古いけどまだまだ現役の交通インフラ（道路橋、鉄道橋、水路橋など）の魅力について講演します。将来、歴史に残るような橋梁の設計や建設に携わるエンジニア（構造工学、橋梁工学、交通工学、鉄道工学）を目指したい方はご参加ください。	理工学部交通システム工学科 齊藤雄平先生	日本大学理工学部交通システム工学科准教授。専門は構造工学、コンクリー、ト工学、橋梁工学。日本大学派遣研究員として過去2回(2014年(1ヵ月)、2024年(1年間))英国に滞在し、様々な交通インフラを現地調査した。
8月30日	国際関係学部	意外と知らない国際協力の世界	個人で海外旅行に行く場合や企業で海外営業として働く場合、また日本国内でも海外からの旅行者と触れ合う場合など、私たちは様々な場面で国際協力の当事者になります。今日は、特に開発途上国に住む人々の生活、その改善のため日本の技術や経験を伝える仕事（開発協力）について講演します。	国際関係学部総合政策学科 小早川徹先生	長らく国際協力機構（JICA）で働いていました。多くの海外の人たちと交流し、また海外で活躍するたくさんの日本人と知り合うことが出来ました。将来、海外で働くことに興味がある人は是非当セミナーにご参加ください。
	スポーツ科学部	「スポーツ」を科学的に分析する「仕事」とは？	スポーツに関わる仕事は、直接アスリートと関わる仕事もあれば、スポーツ振興など間接的にかかわる仕事もあり多種多様です。その中で今回はスポーツを科学的に分析する「スポーツアナリスト」についてお話ししたいと思います。	スポーツ科学部競技スポーツ学科 本道慎吾先生	私の専門はスポーツバイオメカニクスです。スポーツバイオメカニクスは主にスポーツにおける動作を客観的な数値を用いて分析する領域です。
	理工学部	暮らしを支えるドボクの世界	朝起きて顔を洗う水を皆さんの家に届けるのはドボクの仕事です。学校や会社まで通うための道路を造るのもドボクです。ドボクが皆さんが暮らす街の骨格を造り、安心安全な生活を支えています。静岡県を例に、自然災害への対策を含め、現在進んでいるドボクプロジェクトを紹介します。	理工学部土木工学科 長谷川寛先生	私は土木工学科に所属し、長く大きな橋の研究をしています。ドボクは橋、道、港、水道など、街を造り、皆さんの暮らしを支えています。地震災害から街を守るのもドボクです。ドボクを知りたい方はご参加ください。
	歯学部	歯科医師になって良かった！ 一大連携があたの人生にコミットする教育を可能にします—	歯科医師過剰と言われる中、現状ではむしろ歯科医師数の現象が社会問題となっています。これからの時代、歯科医師は期待が持てる良い職業であることをデータをもとにお話しします。また、良い歯科医師になるための最善策が日本大学三島高等学校・中学校入学にあることをやさしく解説します。	歯学部学部長 飯沼利光先生	部長・歯科補綴学第1講座（主任教授） 入れ歯と高齢者の歯科治療が専門です。
生物資源科学部	森林×行政—地域の未来をつくる人材へ	公務員と行っても様々な職種がありますが、森林・林業に関する専門職として林業職があります。国土の7割は森林のため、国の森林や都道府県の森林を管理する人材が求められています。今日は、森林科学はなぜ公務員に強いのか？について講演したいと思います。	生物資源科学部森林学科 杉浦克明先生	私の専門は森林科学です。森林科学って何？と思われる方が多いと思います。将来、国家公務員や地方公務員を目指したい方は、森林科学に注目してください。当セミナーに参加することで新しい発見があると思います。	